

## 紀の川流域の道と歴史・文化講演会

# 南海道は紀南に通じていた

講演Ⅰ 13:30～14:20

### 「紀伊国の古代道路網を考える —南海道は南へ—」

講師：長谷正紀氏（関西大学非常勤講師）

南海道は紀の川北岸を東西に結んでいましたが、右の平城京出土木簡から有田郡駅戸の存在が知られています。南海道が紀南に通じていた可能性を探ります。



平城京出土木簡

講演Ⅱ 14:20～15:10

### 「紀の川流域から紀中・紀南へ —天武・持統朝の仏教文化—」

講師：藤井保夫氏（日本考古学協会会員）

7世紀後半に紀の川流域で最も隆盛した古代寺院の一つであるかつらぎ町所産の佐野(さや)廃寺。その出土遺物から、田殿(たどの)廃寺(有田川町)、道成寺(目高川町)、三栖廃寺(田辺市)等の建立を考える。

■休憩 15:10～15:20

講演Ⅲ 15:30～16:10

### 「古代人の紀南への旅と心情を 万葉歌から読む」

講師：村瀬憲夫氏（近畿大学名誉教授）

目ざる海に接することの少ない万葉びとにとって、海に面した紀南への旅は新鮮な体験に満ち満ちていました。その道々の歌声に耳を傾けてみましょう。

■質疑応答 16:10～16:30

日時：平成27年 12月5日(土) 13:30～16:30

会場：県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 201号室

参加費：無料

定員：70名（先着順、事前のお申込みが必要です。）

主催 紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会

共催 紀伊万葉ネットワーク・NPO法人市民の力わかやま

後援 和歌山県・公益社団法人和歌山県観光連盟・和歌山県教育委員会・和歌山市・和歌山市教育委員会

紀の川みち広域観光連絡協議会

## 講師プロフィール

### 長谷正紀氏



1951年 和歌山県に生まれる。  
**【専門】** 歴史地理学(古代交通路)  
**【著書】** 『定本紀の川・吉野川』(共編著) 『和歌山県の歴史散歩』(共編著)  
**【論文】** 「紀伊国の駅路について—研究史—」「和泉山脈の峠道について」  
 「古代阿波国の駅路について」  
 古代交通路、国府、郡家などについて歴史地理学の方法を用い研究に取り組んでいます。

### 藤井保夫氏



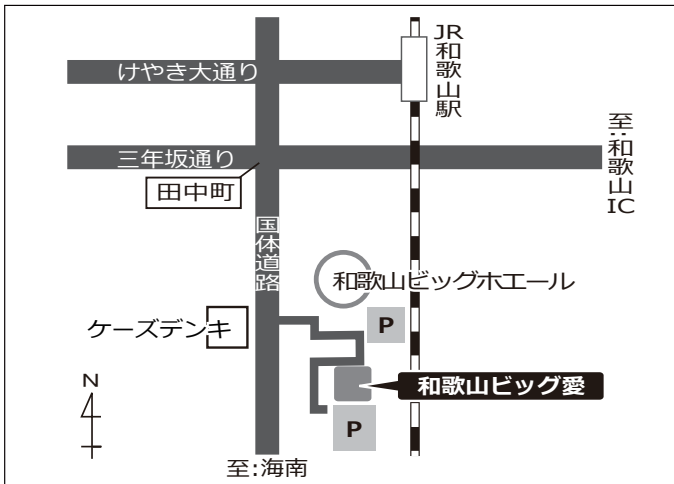
1946年 大阪市に生まれる。  
**【専門】** 日本考古学  
**【著書】** 「和歌山県の古代遺跡」共著  
**【論文】** 「松鶴洞1号墳と紀伊の前方後円墳」「紀伊の白鳳寺院における川原寺式・巨勢寺式軒瓦の採用について」など  
 佐野廃寺跡、上野廃寺跡、紀伊国分寺跡などの発掘調査、研究をととして古代紀伊国の仏教受容の実態復元に取り組んでいます。

### 村瀬憲夫氏



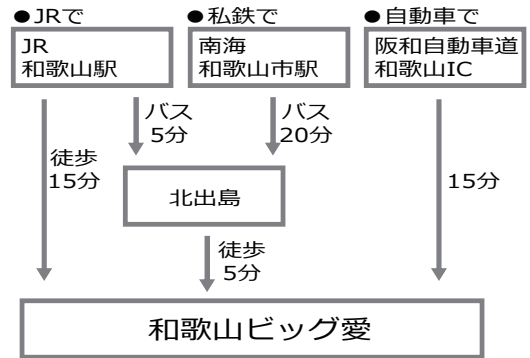
1946年 愛知県に生まれる。  
**【専門】** 日本文学(万葉集)  
**【著書】** 『万葉の歌—人と風土—』第9巻(和歌山)、『万葉 和歌の浦—若の浦に潮満ちて—』、『和歌の浦 歴史と文学』(共編著)、『紀伊万葉の研究』、『萬葉集編纂の研究』、『万葉びとのまなざし』等。  
 紀伊国で詠まれた万葉歌についてあれこれ考え、また万葉集がどのようなプロセスを経て成立したのかの解明に取り組んでいます。

## 会場へのアクセス



### 和歌山ビッグ愛

(和歌山市手平2丁目1-2  
 TEL:073-435-5200)



※時間は目安です。

## 参加申込書

### お申込み方法

下欄に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みいただくか、下欄の内容を明記のうえ、はがき、E-mailでお申込みください。

### 締め切り

2015年12月2日(水) ※定員(70名)になり次第、締め切らせていただきます。

### お申込み先

**紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会** FAX:073-428-2688  
 はがき:〒640-8215 和歌山市橋丁21番地 N2ビル3F NPO法人市民の力わかやま内  
 E-mail: kinokawa@shimin.or.jp

**紀伊万葉ネットワーク 木綿(きわた)** FAX:073-455-1203

お名前(ふりがな)	ご住所	電話番号
-----		
-----		

【お問合せ先】 紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会(NPO法人市民の力わかやま内) TEL:073-428-2688  
 紀伊万葉ネットワーク 木綿 TEL:073-455-1203